

国語科【第1学年】年間指導・評価計画

府中市立府中第五中学校

1 各学年・各分野の学習目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 指導内容および評価規準

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項

ア 日常の言語活動を振り返り、言語の法則に気付く活動

イ 学年別配当漢字表の漢字の読み書きをする活動

ウ 字形を整え、文字の大きさ、配列に気を付けて書く活動

エ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して

話しや文章の中で使う活動

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	- 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 - 漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。		- 学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6	- 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 - 単語の類別について理解している。		- 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 - 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
7	- 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 - 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話しや文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。	- 今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、話しや文章の中で使おうとしている。 - 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 - 文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
10	- 共通語と方言の果たす役割について理解している。 - 漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。 - 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。		- 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
11	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。		古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。

12	・ 単語の類別について理解している。 ・ 小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 ・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	・ 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。 ・ 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
1	・ 小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。 ・ 単語の類別について理解している。		・ 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・ 今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
2	・ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・ 漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。		・ 積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 ・ 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

(2)「話すこと・聞くこと」

ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する活動

イ 話題や展開をとらえながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・ 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		・ 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。
5	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	・ 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	・ 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
6	・ 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	・ 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	・ 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
9	・ 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	・ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	・ 進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
10	・ 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	・ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	・ 進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
11	・ 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	・ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	・ 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
3	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・ 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。

(3) 「書くこと」

ア 各内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える活動

イ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える活動

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・ 進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。
5	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・ 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
6	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・ 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
7	・ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・ 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
9	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。	・ 集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。 ・ 粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
10	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	・ 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
11	・ 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	・ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	・ 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
12	・ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	・ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出している。	・ 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・ 読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。
1	・ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	・ 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
2	・ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・ 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
3	・ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・ 今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。

(4)「読むこと」

ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、用紙を把握する活動

イ 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える活動

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
5	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
6	- 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 - 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	- 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 - 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	- 文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 - 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
7	- 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 比喩などの表現の技法を理解使っている。	- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 - 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	- 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 - 進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
9	- 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 - 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。	- 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 - 場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。	- 登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 - 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
10	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
11	- 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 - 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 - 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 - 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	- 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 - 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 - 積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
1	- 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 - 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。	- 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 - 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
3	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解使っている。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。

(5)「書写」

月	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	姿勢・執筆や筆使い、字形の整え方を的確にとらえている。行が曲がらないように字形を整えて書いている。	姿勢・執筆、用具の扱いなどを確認している。	姿勢・執筆、用具の扱いなどを正しく把握しようとしている。
5	目的に合わせて書くことを理解している。	目的に合わせて書くことを知り、その効果について考えている。	目的に合わせて書くことに関心を持ち、書写学習への意欲を高めようとしている。
6	- ノートの書き方を理解している。 - 基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。	- ノートの書き方を考えている。 - 楷書の基本点画の筆使いや組み立て方を確認している。	- ノートの書き方に興味・関心を持って取り組んでいる。 - 基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。
7	平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。	紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。	平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。
9	楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。	楷書に調和する仮名の筆使いについて考えている。	楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。
10	伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を理解している。	伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を考えている。	日常生活の中の書写活動に興味・関心をもって取り組んでいる。
11	楷書と行書の特徴の違いを理解している。	楷書と行書の特徴を的確にとらえている。	楷書と行書の違いを知ろうとしている。
12	点画の連続と形の変化の筆使いを理解している。	点画の連続と形の変化を確かめ、課題を考えている。	点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。
1	行書の特徴や行の中心を理解して、字形を整えて、配列よく書いている。	行書の特徴や配列について理解し、調和のさせ方を的確に捉えている。	自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。